

ブロック塀の撤去経費を9月補正予算に計上 ～学校プールに設置のブロック塀撤去・ 生け垣緑化推進事業補助金を創設～



平成30年8月21日

前回発表(7月3日)した対応方針

公共施設等に設置されているブロック塀について、緊急点検調査結果を踏まえ、次の5区分に分類して対応方針を決定

区分	状態等	施設数	対応方針
① 即時の対策が必要	塀に傾斜があり、通学路への影響が大きい	2施設	危険性が高いため、速やかに撤去
② 学校プールA	学校プールに設置の塀で、塀全体の高さが2.2m超かつブロック塀の高さが1.2m超で控壁又は控柱がない	6施設	(一社)三重県建築士事務所協会の協力による調査及び対応策の提案
③ 学校プールB	学校プールに設置の塀で、②以外	11施設	
④ 早期の対策が必要	平成28年度公共建築物定期調査結果が「要是正」	4施設	
⑤ ①～④以外で対策要と想定	施設管理者が現行基準に合致しないと判断したもの	50施設	建築士資格を有する市職員による現地調査後、(一社)三重県建築士事務所協会の協力による調査及び対応策の提案

公共施設等に設置されているブロック塀への対応①

区分① 即時の対策が必要

～塀に傾斜があり、通学への影響が大きい～

該当施設 2施設 一志中学校、白山中学校

学校施設修繕の既決予算を活用し、7月11日に撤去(事業費:779千円)

一志中学校に新たなフェンスを設置する経費を9月補正予算計上 予算計上額1,500千円
(白山中学校は、撤去した以外の箇所の調査完了後、対応)

一志中学校



白山中学校



公共施設等に設置されているブロック塀への対応②

区分② 学校プールA ～学校プールに設置の塀で、塀全体の高さが2.2m超かつブロック塀の高さが1.2m超で控壁又は控柱がない～

区分③ 学校プールB ～学校プールに設置の塀で、②以外～

区分④ 早期の対策が必要 ～平成28年度公共建築物定期調査結果が「要是正」～

②該当施設 6施設 育生小学校、安東小学校、白塚小学校、西橋内中学校、東橋内中学校、南郊中学校

③該当施設 11施設 養正小学校、南立誠小学校、北立誠小学校、敬和小学校、新町小学校、藤水小学校、神戸小学校、一身田小学校、西が丘小学校、西郊中学校、豊里中学校

④該当施設 4施設 成美小学校、一身田公民館、愛宕会館、白山庁舎

7月11日(一社)三重県建築士事務所協会と公共施設等ブロック塀に係る調査業務委託契約を締結

7月12日～31日(一社)三重県建築士事務所協会による調査実施及び改修方法等の提案
提案内容:補強や改修では不十分であるため、ブロック塀を撤去し、金属製フェンスに改修

一身田公民館及び愛宕会館を除く19施設について、ブロック塀を撤去し用途に応じた金属製フェンスを設置する経費を9月補正予算計上

予算計上額 141,155千円

※一身田公民館はH31に実施する解体工事と同時撤去、愛宕会館は今年度実施予定の施設改修工事において対応

公共施設等に設置されているブロック塀への対応③

区分⑤ 施設管理者が現行基準に合致しないと判断したもの

該当施設 50施設		
区分	施設数	設置施設
小・中学校、義務教育学校	10施設	修成小学校、栗真小学校、榊原小学校、芸濃小学校、村主小学校、大三小学校、橋北中学校、橋南中学校、一身田中学校、久居中学校
幼稚園	2施設	敬和幼稚園、藤水幼稚園
保育所、認定こども園	5→4施設	栗真保育園、相愛保育園、中央保育園、芸濃保育園、〔立誠保育園：基準に合致と判明〕
その他公共施設等	33→30施設	橋南公民館、新町会館、中央市民館、埋蔵文化財センター多気北畠氏遺跡調査分室、一志テニスコート、津球場公園内野球場、市営住宅(4団地・8施設)、神戸出張所、白塚出張所、汚水処理施設(2→1施設)、ポンプ場・排水機場(3施設)、モーターボート競走場、半田笠取児童公園、青少年野外活動センタープール、津方面団養正分団車庫、白山川口プール(休止)、墓地(2施設)、教育研究所ふれあい教室、津なぎさまち第5駐車場、旧新町幼稚園、〔敬和公民館、南郊公民館、汚水処理施設：ブロック塀ではなく鉄筋コンクリート造と判明〕

7月4日～13日 建築士資格を有する市職員による現地調査⇒基準に合致しないものは46施設と判明

7月12日～9月28日 (一社)三重県建築士事務所協会による必要に応じた調査及び改修方法等の検討

改修方法等が整理できた栗真保育園について改修経費を9月補正予算計上 予算計上額 3,290千円
※その他施設についても、今後の整理内容に基づいて対応

個人・法人の設置しているブロック塀等への対応

地震後の、ブロック塀に対する問い合わせ

- 通学路、近隣、自己所有のブロック塀が傾いていて危険！対応を・・・
 - 撤去改修の補助金はあるのか？
-
- 国土交通省による「ブロック塀の点検のチェックポイント」をホームページ上に掲載
 - パトロール及び市役所窓口においてチラシを活用し説明
 - 自治会及び市民からの要望に対し、現地確認、改修等にかかる助言・指導

緑化の推進による災害に強いまちづくり

- 都市景観に潤いと安らぎを与え、災害時の危険なブロック塀倒壊による被害の防止、避難経路の確保
-
- 生け垣緑化用苗木配布事業

災害時の安全対策及び緑に囲まれた住みよい環境づくりに対する
市民意識高揚施策が必要

生け垣緑化推進事業補助金の創設

生け垣緑化推進事業補助金の概要

概 要

緑に囲まれた住みよい環境づくりと災害に強く良好な都市景観の形成を図るため、公道に面した既存のブロック塀を除却後、生け垣を設置する場合に、その生け垣の設置費用の一部を補助
※生け垣緑化推進強化期間として3年間の実施

対象者

市内に住宅または事業所・事務所等を所有する個人・法人など

対象経費

公道に面して設置する生け垣の樹木・支柱等の材料購入費、土壌改良費、業者施工の場合の人件費など

補助金額

対象経費の1／2(上限100,000円)

9月補正予算 での対応

生け垣緑化推進事業補助金

予算計上額

100,000円×50件＝5,000,000円

【財源 緑化基金を活用】

9月補正予算計上額

	概 要			予算計上額	
公共施設等への対応	区分①	1 施設	一志中学校	1,500千円	145,945千円 (142,030千円) ※()は、小中学校施設に係る予算計上額
	区分②③④	1 9 施設	小学校 1 3 校 中学校 5 校 白山庁舎	141,155千円	
	区分⑤	1 施設	栗真保育園	3,290千円	
個人・法人への対応	生け垣緑化推進事業補助金		100千円×50件	5,000千円	
ブロック塀対応予算額合計				150,945千円	

国への要望

ブロック塀対策への財源が速やかに措置されることを期待！

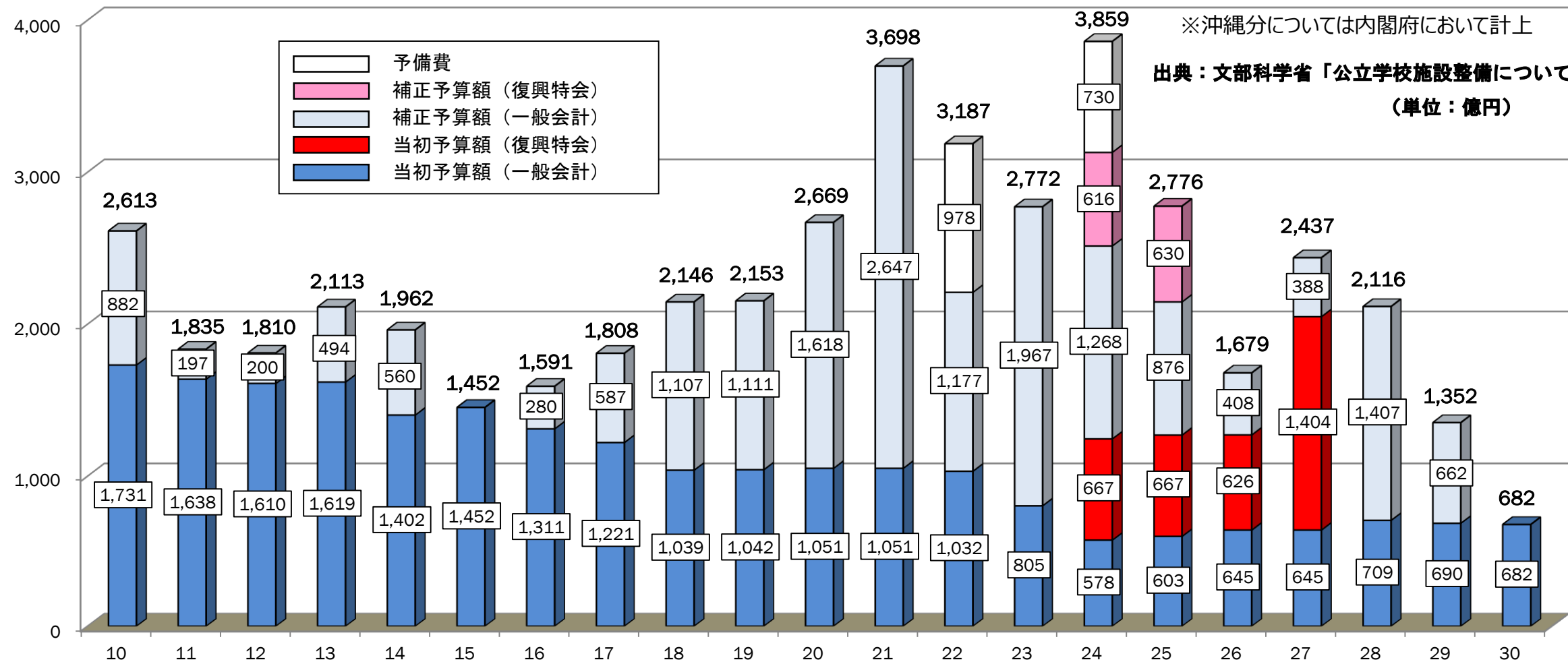
公立学校施設整備費に係る 国庫補助の要望活動を行います



平成30年8月21日

国の予算状況

公立学校施設整備費予算額の推移（平成10年度～平成30年度予算）



(注) 平成13年度、20年度、21年度、23年度の補正予算額は1次補正、2次補正、3次補正の合算(21年度については執行停止額を含む)。
平成24年度予備費は経済危機対応・地域活性化予備費(149億円)と東日本大震災復興特別会計予備費(581億円)の合算。
端数四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

(東日本大震災復興特別会計とは) 東日本大震災からの復興に係る国の資金の流れの透明化を図るとともに、復興債の償還を適切に管理するため、平成24年度から新たに設置された特別会計。文部科学省の学校施設環境改善交付金は、耐震補強事業や防災機能強化事業などが対象となる。

【一般会計+復興特会】 (単位：億円)

	24	25	26	27
予備費	730			
補正予算	1,884	1,506	408	388
当初予算	1,246	1,271	1,271	2,049

現在の公立学校施設整備の問題点

予算が安定的に措置されない結果、
自治体で計画的に施設整備が行えない！

各自治体の要望

平成30年度

2,000億円程度

予算措置の状況

平成30年度当初予算
682億円

平成29年度補正予算
662億円

660億円程度不足

- ・平成29年度当初予算で措置されなかった事業は、平成29年度補正予算で対応したものもあるが、工期の変更を行うなど影響が大きかった。
- ・工事が先送りできない自治体は、補助を受けずに単費で事業を行った。
- ・平成30年度に予定していた事業については、平成29年度補正予算で前倒して対応したものもあるが、要望額から比較して660億円程度不足しており、老朽化対策を含め、多くの事業がストップすることとなる。

平成30年度は660億円程度の不足が生じているため、今後の補正予算による事業実施は必須。
さらに、当初予算の安定的な確保により、安定的・計画的に整備を可能にする必要がある。

全国公立学校施設整備期成会について

1. 沿革・目的

昭和31年、公立学校施設整備の完全整備の実現を期して発足。
公立学校の設置者である全国市町村長及び各都道府県教育委員会により構成。

2. 役員

会 長	三重県津市長	前葉	泰幸
副会長	北海道共和町長	山本	栄二
	山形県東根市長	土田	正剛
	神奈川県南足柄市長	加藤	修平
	岐阜県岐阜市長	柴橋	正直
	京都府井手町長	汐見	明男
	山口県柳井市長	井原	健太郎
	高知県教育長	伊藤	博明
	長崎県島原市長	古川	隆三郎

3. 活動

- ・毎年6月前後に定期総会を開催(平成30年度は5月22日に開催)。
- ・総会において予算に対する要望事項等を決議し、関係各所へ要望活動等を実施し、公立学校施設整備の促進を図っている。

4. 組織

43都道府県の公立学校施設整備期成会が加盟している。

公立学校施設整備に必要な財源確保に向けた取り組み①

全国公立学校施設整備期成会会長に就任したことを受け、学校耐震化・施設整備等促進議員連盟に属する国会議員及び文部科学省を訪問

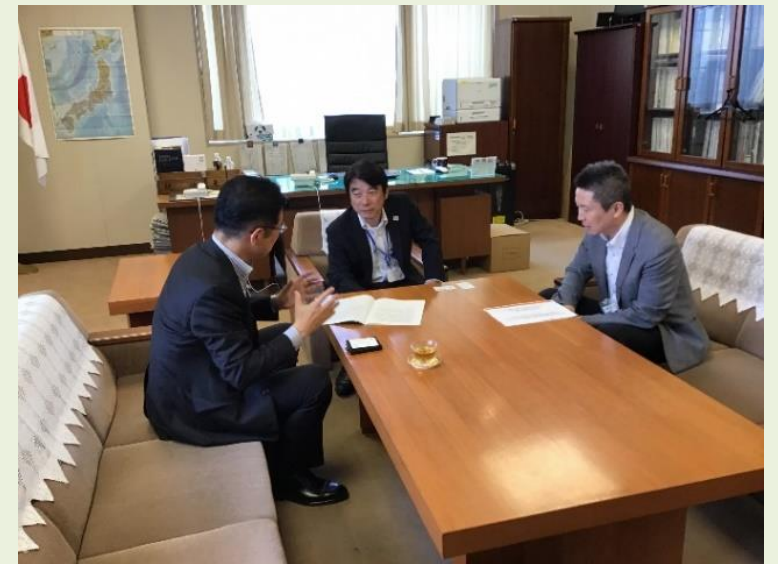
日時 平成30年6月5日(火) 13時から
訪問先 衆議院議員第2議員会館及び文部科学省



議員連盟
河村建夫会長



国会議員連盟
遠藤利明会長代行



文部科学省
平井明成文教施設企画部長
浅野敦行施設助成課長

公立学校施設整備に必要な財源確保に向けた取り組み②

全国公立学校施設整備期成会と自民党学校耐震化・施設整備等促進議員連盟及び公明党文部科学部会と公立学校施設整備の現状についての勉強会・意見交換会を実施

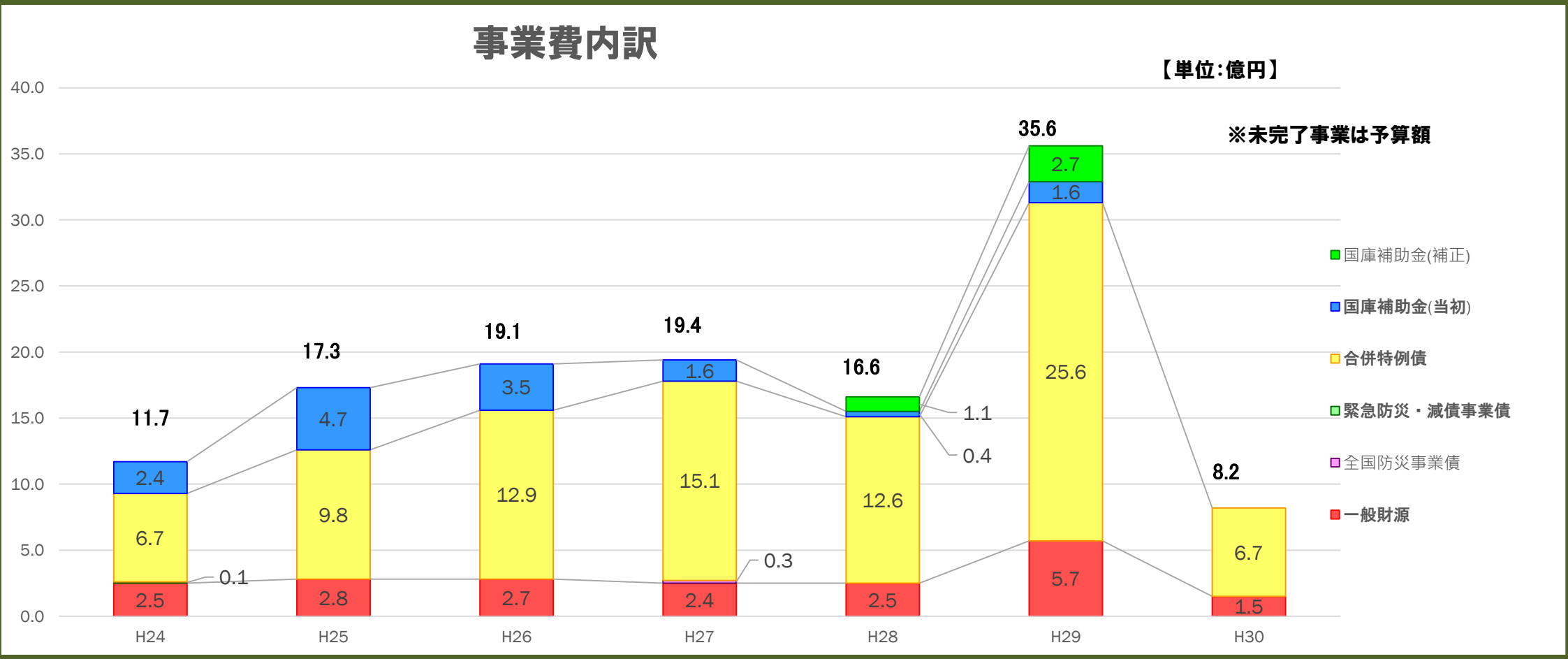
平成30年6月21日(木)16時から16時30分
衆議院第1議員会館(公明党)



平成30年6月21日(木)17時から18時
自民党本部



津市における施設整備費の推移



- ・国庫補助金は年々減少(未採択事業の増加)
- ・先送りできない事業の財源不足は合併特例債などで補填せざるを得ない

国の予算不足や採択方針と自治体要望との乖離により
補助対象となるものが採択されていない

公立学校施設整備費の国庫補助の採択状況

【国庫補助金額ベース】※未完了事業は予算額

年度	要望事業	採択	採択内容	不採択	不採択内容
24年度	大規模(老朽、障害、トイレ、太陽光発電等)、 バリアフリー改修、トイレ改修 (要望額) 2.4億円	(内示額)2.4億円 (交付額)2.4億円	大規模(老朽、障害、トイレ、 太陽光発電等)、 バリアフリー改修、トイレ改修		
25年度	増築、大規模(老朽、障害、トイレ、統合、 太陽光発電等)、バリアフリー改修、トイレ改修 (要望額) 6.0億円	(内示額)6.0億円 (交付額)4.7億円	増築、大規模(老朽、障害、 トイレ、統合、太陽光発電等)、 バリアフリー改修、トイレ改修		
26年度	大規模(老朽、障害、トイレ) バリアフリー改修、トイレ改修 (要望額) 3.8億円	(内示額)3.8億円 (交付額)3.5億円	大規模(老朽、障害、トイレ) バリアフリー改修、トイレ改修		
27年度	増築、大規模(老朽、障害、トイレ、空調、太陽光発 電等)、バリアフリー改修、防災機能強化 (要望額) 2.1億円	(内示額)1.9億円 (交付額)1.6億円	増築、大規模(老朽、障害)、 バリアフリー改修、防災機能強 化	(要望額) 0.2億円	大規模(空調、トイレ、 太陽光発電等)、空調整備
28年度	【当初】 増築、大規模(老朽、障害、トイレ、空調、 太陽光発電等、バリアフリー改修、プール整備 (要望額) 1.3億円	(内示額)0.5億円 (交付額)0.4億円	増築、大規模(障害)、 バリアフリー改修、プール整備	(要望額) 0.8億円	大規模(老朽、トイレ、空調、 太陽光発電等)
	【補正】 空調整備 (要望額) 1.3億円	(内示額)1.3億円 (交付額)1.1億円	空調整備		
29年度	【当初】 大規模(老朽、障害、トイレ、空調、太陽光 発電等)、単独校調理場(新增築)、バリアフリー改 修、幼保こども園整備 (要望額) 4.7億円	(内示額)1.8億円 (交付額)1.6億円	大規模(老朽、障害)、単独校 調理場(新增築)、バリアフリー 改修、幼保こども園整備	(要望額) 2.9億円	大規模(トイレ、空調、太陽光発 電等)、 空調整備
	【補正】 大規模改造(老朽、障害) (要望額) 2.9億円	(内示額)2.9億円 (交付額)2.7億円	大規模改造(老朽、障害)		
30年度	空調整備、消防設備改修 (要望額) 0.05億円			(要望額) 0.05億円	空調整備、消防設備改修

計画的に事業を推進するため、必要な予算については、
当初予算での全額確保が必要

大規模改修工事スケジュール

- ・平成23年度から大規模改修事業を実施し、平成28年度までに4校(白塚小、神戸小、一身田中、一志中)が完成(事業費:約35億円)
- ・現在下記の5校を実施中(予定事業費:60.5億円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
新町小学校	設計	大規模改修工事				
藤水小学校		設計	大規模改修工事			
南郊中学校		設計	大規模改修工事			
西が丘小学校			設計	大規模改修工事		
久居中学校			設計	大規模改修工事		

※2020年度以降の大規模改修工事については、今後、学校の現地調査を行い、建築年・過去の改修履歴・劣化状況等を含め検討を行います。



校舎外壁改修 一身田中学校



教室改修 神戸小学校



エアコン整備スケジュール

事業期間

平成28年度～平成32年度の5年間で全ての小中学校の普通教室へ整備
概算事業費 約23億円(学校施設環境改善交付金及び合併特例事業債を活用)

中学校のエアコン整備

平成28年度から15校のエアコンの単独整備工事に着手

平成29年の夏までに
全ての中学校の普通教室へ設置完了
※大規模改造工事に併せて整備する2校は除く



大規模改造工事にあわせて整備2校
南郊中学校:平成29～31年度
久居中学校:平成30～32年度

単独整備工事を行った15校の整備費

約4億6,440万円

小学校のエアコン整備

校数	設置完了校	整備予定校
49校	1校(みさとの丘学園前期課程)	48校

整備予定校 48校

エアコンの
単独整備
45校

大規模改造工事にあわせて整備3校
新町小学校:平成28～31年度
藤水小学校:平成29～31年度
西が丘小学校:平成30～32年度

平成29年度から32年度の3期に分けて中学校区単位で整備

	整備年度	中学校区	小学校名	校数
第1期	平成30年度	朝陽、橋北、南郊、南が丘、久居、久居東、一志	上野、豊津、黒田、千里ヶ丘、南立誠、北立誠、高茶屋、雲出、南が丘、誠之、成美、戸木、立成、桃園、一志西、一志東	16
第2期	平成31年度	芸濃、一身田、豊里、東橋内、橋南、久居西、香海	芸濃、明、一身田、白塚、栗真、大里、高野尾、豊が丘、敬和、修成、育生、栗葉、榊原、香良洲	14
第3期	平成32年度	東観、西橋内、西郊、白山、美杉	安濃、明合、村主、草生、養正、神戸、安東、櫛形、片田、家城、川口、八ツ山、大三、倭、美杉	15

平成30年度事業費

事業費:656,618千円

小学校エアコン整備スケジュール

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
第一期			設計 → エアコン整備			
第二期				設計 → エアコン整備予定		
第三期					設計予定 → エアコン整備予定	
新町小学校	設計 →	大規模改造工事 → エアコン整備				
藤水小学校		設計 →	大規模改造工事 → エアコン整備			
西が丘小学校			設計 →	大規模改造工事 → エアコン整備		

※エアコン単独整備(第一期～第三期)については、当初予算で設計費を計上し、
12月補正予算で工事費を計上予定

※新町小学校、藤水小学校、西が丘小学校は大規模改造工事予定校

学校施設のブロック塀改修

- ・ブロック塀の改修については、緊急度の高いものから順次対応していく方針を決定
- ・塀の状態や設置場所の状況等により、①から⑤の5つの区分に分類し対応

即時の対策が必要 区分①

～塀に傾斜があり、通学への影響が大きい～

該当施設の中学校2校のブロック塀 7月11日に撤去を実施

一志中学校



白山中学校



学校施設のブロック塀改修予定

	区分	状態等	施設数	対応方法
②	学校プールA	学校プールに設置の塀で、塀全体の高さが2.2m超かつブロック塀の高さが1.2m超で控壁又は控柱がない	6施設	(一社)三重県建築士事務所協会による調査実施及び改修方法等の提案に基づき、ブロック塀を撤去し用途に応じた金属製フェンスを設置する経費を9月補正予算計上 予算額:142,030千円 (設計費を含む)
③	学校プールB	学校プールに設置の塀で、②以外	11施設	
④	早期の対策が必要	平成28年度公共建築物定期調査結果が「要是正」	1施設	
⑤	①～④以外で対策要と想定	施設管理者が現行基準に合致しないと判断したもの	14施設	建築士資格を有する市職員による現地調査後、(一社)三重県建築士事務所協会の協力による調査及び対応策の検討

平成30年度

区分	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
②～④	● 建築士事務所協会報告		補正予算計上		設計予定	改修工事予定		
⑤			● 建築士事務所協会報告予定		補正予算予定	設計予定		

公立学校施設整備のための予算確保の要望強化①

平成30年6月6日

第88回全国市長会議

- 「公立小中学校施設整備のための予算確保に関する決議」を採択
- 全国市長会副会長として、内閣官房正副長官、自由民主党及び公明党を訪問し、決議について要請



第88回全国市長会議

公立小中学校施設整備のための予算確保に関する決議

公立小中学校の施設は、子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害発生時には避難場所としての機能も果たすものである。

これまで校舎や体育館の耐震化を優先的に進めてきたところであるが、築40年以上の施設が約3割存在しており、今後、新增築・老朽化対策に係る事業費が更に増大していくことが必至である。

また、空調設置、トイレ改修、給食施設整備等についても、家庭や社会環境の変化に対応して、早急に事業を進める必要がある。

しかしながら、この20年間の公立学校施設整備に関する国の当初予算額の推移を見ると、平成10年度に1,731億円だったものが平成30年度には682億円と大幅に減少してきている。

よって、国は、公立小中学校施設の実態を十分に踏まえ、速やかに子どもたちの教育環境の改善を図るとともに、安全・安心の確保を図る観点から、下記事項について、積極的な措置を講じるよう強く要請する。

記

1. 公立小中学校施設の整備費については、新增築・老朽化対策、空調設置、トイレ改修、給食施設整備等の事業を計画的に実施できるよう、当初予算において必要額を確保するとともに、対象事業の拡大や補助率の引上げ等の財政措置の拡充を図ること。
2. 平成30年度については、補正予算による十分な財政措置を講じるとともに、速やかな事業執行ができるよう早期示しに努めること。

以上決議する。

平成30年6月6日

全国市長会



菅義偉内閣官房長官へ要請

公立学校施設整備のための予算確保の要望強化②

【県政に対する要望を取りまとめ】

- 個別施設計画に基づき実施する**大規模改修工事**や計画的に整備している**空調設備整備事業**の優先採択
- 実態に即した**面積単価の引き上げ**と単価引き上げに見合った**補助対象事業費の上限額の見直し・撤廃**
- 外壁工事や屋上防水工事などの**単独で実施する維持補修工事**を交付対象へ

- ▶平成30年6月18日 大阪府北部地震によるブロック塀の崩落事故 →ブロック塀の安全対策
- ▶平成30年7月～8月 記録的な猛暑日が続く →学校施設への早急な空調設備（エアコン）整備

平成30年8月20日 三重県知事との「1対1対談」

「地方の要望額に見合った公立学校施設整備費予算の十分な確保及び学校施設環境改善交付金の取扱いの見直し」について協議

平成30年8月23日 平成31年度県政に対する要望書提出

加えて、ブロック塀の安全対策についても補助金の対象とするよう、国に対して要望

平成30年8月末 全国市長会として改めて国に対する要望を実施

平成30年9月2日から

国登録有形文化財 旧明村役場庁舎を一般公開



平成30年8月21日

旧明村役場庁舎の概要

所在地 津市芸濃町林字向城346-2

構造 木造2階一部平屋建 瓦葺

建築年 大正5(1916)年 ※102年が経過

建物の特徴 大正5(1916)年に建設され、木造2階建てで、1階が事務室、2階を議場として使用されていた。下見板張(したみいたばり)や上げ下げ窓を用いた洋風デザインの庁舎で、建物の角に玄関ポーチを張り出し、その2階部分はバルコニーとし、上部の屋根は入母屋破風(いりもやはふ)とするなど、玄関部分を強調した特色ある建物となっている。

明治20(1887)年竣工の津市大門にあった津警察署(現存しない)と類似し、その外観を参考にしたといわれている。

文化財区分 国登録有形文化財(建造物)

登録年月日 平成18年11月29日



旧明村役場(昭和初期頃)



津警察署(明治後期頃)



旧明村役場位置図

旧明村役場庁舎の歴史

明治22(1889)年

忍田(おしだ)・楠原(くすはら)・楠平尾(くすびらお)・中縄(なかなわ)・萩原(はぎわら)・林(はやし)・福德(ふくとく)の7ヶ村が合併。村名は「明治」からとって明村となる

大正5(1916)年

明村役場庁舎が建設される

昭和31(1956)年

河芸郡明・椋本と安濃郡安西・雲林院・河内の5ヶ村が合併し芸濃町となり、芸濃町役場明支所となる

昭和42(1967)年

明支所が廃止

昭和45(1970)年

芸濃町資料館となる

平成17(2005)年

芸濃総合文化センター内に新たな資料館が開設されたため閉鎖

平成18(2006)年

国登録有形文化財に登録



登録有形文化財登録証

整備工事に至る経緯

平成19～20年度

平成18年に国登録有形文化財に登録後、今後の基礎資料とするため、建物詳細調査を実施し、地域の方々に報告

平成21～24年度

建物を保存して整備を望む声だけでなく、経費をかけて整備する価値があるのかという意見もあり、整備活用方法を検討

平成25～26年度

地域の各種団体から提出された改修の要望書を受けて、地域の方々の意見を確認するため、聞き取りを実施

平成27年度

地域の方々の意見が集約された保存と活用を求める要望書が4月に提出され、保存活用計画策定費を6月補正予算に計上し、整備事業に着手

平成28年度

耐震補強計画・実施設計費を当初予算に計上

平成29～30年度

耐震補強その他工事費を継続費として当初予算に計上
工事期間：平成29年7月～平成30年7月

工事の概要

工事請負費 145,844千円

うち、国庫補助金 27,777千円

県補助金 3,888千円

合併特例債 100,300千円

地域の方々からの声

- ①国登録有形文化財として価値を保つ修理を実施してほしい
- ②西側に隣接する道路(市道牛谷線)が狭小であるので拡幅してほしい
- ③建物を利用しやすいよう、駐車場を確保してほしい

現地改修よりも工事費を抑えることができ、文化財としての価値を損うことのない**曳家工事**の実施

【メリット】 建物自体を移動させることで、進入道路や駐車場の確保が可能なおかつ駐車場用地に地域のための耐震性防火水槽も設置



耐震補強・公開活用のための整備

- ① 耐震性のある新しい基礎の上に移設
- ② 耐震診断の結果に基づき、補強柱や方杖^{ほおづえ}などを追加
- ③ 多目的トイレや消防設備、エアコンなどを新たに整備



整備後の管理・公開活用

管理・公開活用は地元住民による積極的な参画

施設管理

- ・地元自治会、体育振興会や老人会などで構成される明地区社会教育推進協議会に委託

公開活用

- ・芸濃町文化協会や芸濃ふるさとガイド会からなる公開活用協議会が実施（毎週土日の9時～17時）

- ・展示、紙芝居、周辺ウォーク、講演会などを実施予定



放課後 子ども教室

- ・明小学校区子ども教室運営委員会による「明っ子村役場」



整備後の公開活用

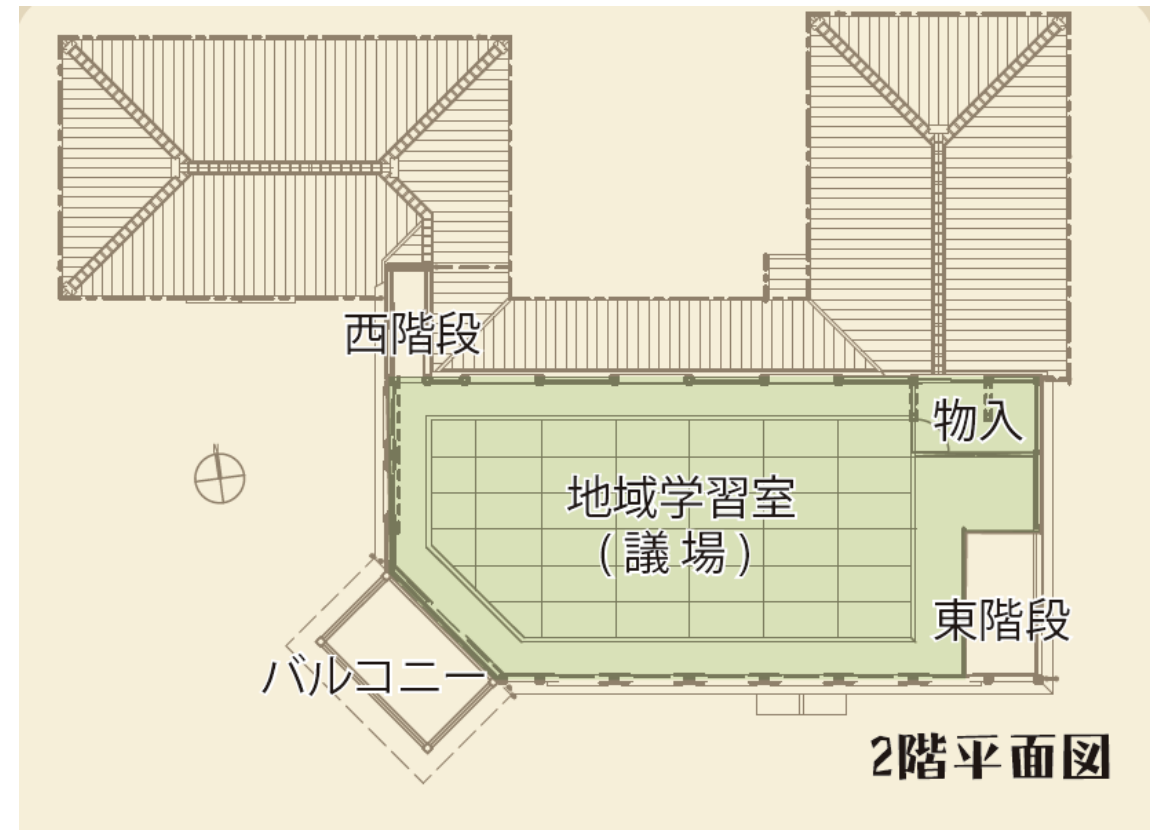
1階 ギャラリー・展示室

明村役場の設計図面
などの展示



2階 地域学習室

洋風建築の役場には、
珍しい畳敷き議場を復元



【具体的な活用】

・資料展示・講演会や紙芝居などで、地域の歴史を学ぶ場・放課後子ども教室・地域コミュニティ活動

今後のスケジュール

完成内覧会

平成30年8月26日(日)	10:00～ 竣工式(式辞・来賓祝辞・テープカット) 10:20～ 明地区の住民を対象とした内覧会
---------------	--

一般公開

平成30年9月2日(日)～	毎週土曜・日曜(年末年始は休館) 9:00～17:00 ※9月2日は10:00開館
---------------	--

開館記念イベント

平成30年9月2日(日)
旧明村役場庁舎

記念イベント① ピアノ演奏 10:00～、13:00～
演奏者 伊東 朔(はじめ)さん(三重大学教育学部附属中学校3年)
記念イベント② 歴史ウォーク 11:00～、14:00～
芸濃ふるさとガイド会の解説で、旧明村役場周辺の史跡を1時間ほどかけて巡ります

平成30年9月8日(土)
市芸濃庁舎2階大会議室

記念イベント③ 講演会 13:30～
演題 「登録有形文化財の保存と活用」
講師 稲垣智也さん(文化庁文化財部文部科学技官)

平成30年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ） 津市の開催競技に 130,000人が来場！



平成30年8月21日

参加人数・観客者数等

©Inter High



上段赤文字:実数、下段()黒文字:想定数 【単位:人】

	ハンド ボール	女子バレー ボール	レスリング	なぎなた	柔 道	合 計
監 督・選 手	1,632 (1,632)	840 (864)	964 (1,400)	493 (500)	1,692 (1,441)	5,621 (5,837)
大 会 役 員	257 (225)	177 (146)	218 (141)	193 (175)	297 (269)	1,142 (956)
補 助 員 (高 校 生)	561 (454)	448 (434)	312 (224)	263 (225)	299 (250)	1,883 (1,587)
観 客 数 (延 人 数)	39,250 (32,000)	37,900 (18,000)	9,100 (5,000)	3,800 (3,300)	31,300 (11,000)	121,350 (69,300)
合 計	41,700 (34,311)	39,365 (19,444)	10,594 (6,765)	4,749 (4,200)	33,588 (12,960)	129,996 (77,680)

※監督・選手は想定より約200人(3.7%)の減となったが、観客数は69,300人を見込んでいたところ、52,050人(75%)増の121,350人であり想定以上であった。特に8月4日(土)、5日(日)の両日に女子バレーボールとレスリングが同時開催であったため、市民等の来場が非常に多かった。

高校生No1を目指した熱い戦い！

©Inter High



7月27日から津市で5競技を開催！ 8月12日まで連日大盛況！



【ハンドボール(7/27～8/1)】サオリーナ・安濃中央総合公園内体育館・津高等学校の3会場で熱戦が繰り広げられ、観客数は延べ4万人を超えた。男子は昨年準優勝の氷見(ひみ)(富山)が16年ぶり2度目、女子は佼成学園女子(こうせいがくえん)(東京)が2年連続4度目の頂点に！



【レスリング(8/4～8/7)】メッセウイング・みえでは4面横並びのコートを設営。いなべ総合学園(三重)が学校対抗戦で3位に入るなど、目の前で競技が観戦でき大盛り上がり。



【女子バレーボール(8/1～8/5)】サオリーナ・芸濃中学校体育館の2会場で、選手・役員・補助員・観客合わせ約4万人が集結。

決勝戦は下北沢成徳(しもきたざわせいとく)(東京)と金蘭会(きんらんかい)(大阪)の組み合わせとなり、男子バレー日本代表の石川祐希選手の妹、石川真佑(まゆ)選手率いる下北沢成徳が3対0で金蘭会を破り、2年ぶり3度目の優勝を決めた。



【柔道(8/8～8/12)】サオリーナでは、ロサンゼルス・ソウル五輪で連覇した故・斎藤仁(ひとし)氏の次男・斎藤立(たつる)選手(国士舘:東京)や、2017年世界柔道選手権金メダルの阿部一二三(ひふみ)選手の妹・阿部詩(うた)選手(夙川学院:兵庫)(しゅくがわがくいん)の出場で、会場は両選手を注目。



【なぎなた(8/5～8/7)】久居体育館で開催し、観客約4千人が集った。試合競技(個人)では北条高校の神山愛姫(えひめ)選手(愛媛)が2連覇を達成！試合競技(団体)では稲生高校(三重)がベスト8に！！

大会を支えた高校生補助員！

©Inter High



地元高校生の活動の一例

■ 笑顔で対応 (津駅の総合案内所)



■ 会場の設営作業の手伝い (メッセウイング・みえ)



■ 選手にドリンクを提供 (芸濃中学校)



■ 親切な対応を心がけ (久居駅の総合案内所)



■ 各競技の受付係は、迅速かつ適切な行動 (サオリーナ)



■ 各競技に多数の協力で、 競技・会場運営を支える



会場装飾・物販

©Inter High



会場を彩った幟旗・プランター



■ サオリーナ前の道路には選手歓迎幟旗約70本でお出迎え！



■ 久居体育館前では久居農林高校と相可高校の生徒が育てた草花プランターで会場を装飾し、皆さんをお出迎え。



(サオリーナ入口)



(安濃中央総合公園内体育館)



(津高等学校)

津市観光協会などによる地元製品の販売ブース



■ 地元の企業も多数出展し、一般観覧者へおもてなし！



■ メッセウイング・みえでの弁当・ドリンク等販売。(津市物産振興会)



■ 選手たちに負けじと地産品のPR合戦！
「全国各地から多くの方が津市に来ていただき、楽しそうにお土産を選ぶ姿を見る事ができて良かったです」と関係者の方々も大満足。

参加選手・競技関係者・売店出店者の声！

©Inter High



●他県では毎年、早朝から来場者による車の列ができたが、メッセウイング・みえは十分な駐車スペースが確保されているため、さほど渋滞もなく、多くの方はスムーズに来場していた。
(競技関係者)



●吉田沙保里選手に縁のある施設で試合ができたのは一生の思い出となる。(参加選手)

●選手の競技場所と観客席の距離が近いので、選手への声援が届きやすく、応援が凄かった。(参加選手)

●こんな素晴らしい施設で今まで開催したことがなく、付帯施設も充実しており、競技運営を円滑に行うことができた。(競技関係者)

●夜間に津駅前を訪れたが、大会関係者がとても多く、大変な賑わいであった。
(競技関係者)

●全国から来ていただく方々に津市の土産物等を知っていただく良い機会であった。(売店出店者)

●事前に情報を得ているのか、津＝うなぎとされているのか、来場者から「うなぎの美味しい店」を尋ねられる回数が圧倒的に多かった。(売店出店者)



2021年とこわか国体に向けての課題

●なぎなた競技の会場(津市久居体育館)に仮設空調を設置してもらい有り難かったが、想定以上の猛暑のため、場内はあまり冷えなかった。(参加選手)

●時間帯によってタクシーの乗車が集中したため、乗車待ちでかなり待たされることがあった。(競技関係者)